

編輯室の内外

昭和五年も茲一と月で暮れむとする、想へば政界も財界も随分多事多難な歳であつた。倫敦條約問題を中心として政權の變動を想はしめたが、夫れも事なく打過ぎて、政界安定の曙光見へたとき、濱口首相の遭難と言つた調子、經濟界は不景氣のどん底に在る。失業者は街頭に群をなしてゐて、何となく險惡の世相を呈してゐる。此儘で新年を迎へるのかと思ふと、元旦に盃を擧げて天下泰平を謳ふことも出來ないであらう。

失業者救済に胚胎して主張されたのは道路改良事業の起興であつた、本會でも夫れを主張して建議書まで提出したのであつたが、財政緊縮に怯えてゐる政府は、社會の要求に耳を籍さずに從來からの道路改良費參百五十萬圓を百萬圓に削減して歲計を節約したと聲明した。吾々は餘りに世相を洞察するの明なき政府を憐み、いつか吾々の主張を容れなければならぬ時機に遭遇するであらうことを豫言した。

失張り三分一補助主義で、何れも道路公債法に依つて起債に財源を求めようである。從來政府が一枚看板としてゐた非募債主義を變更してまで失業者救済の爲に此事業を起興するに至つたのは、遲蒔ではあるが政府の奮發を買つて可い。

政友會の連中はサー政府は非募債主義を抛棄したと、聲を高くして騒ぐであらう、併し濱口さんちや無いが、政策は時勢の變遷で變更するものでないと同様に非募債政策も亦絕對的ではない筈、詰り政治は現世想を對象とする相對的のものだ餘り責め立て過ぎると自分も亦同じ穴に陥るのは明かだ、唯だ卿等が計畫した産業道路を民政黨に搔拂られたことが癢であらう、が併し積極政策を看板にしながら、僅に三百萬圓を以て世間を誤魔化さむとした罪だ、今にして想へば吾人の主張を容れてモ一少し規模の大きな計畫の樹を立て、おけば良かつたことだ。

道路は儲けものをした、と騒ぎ立てゝある連中もあるが、吾人の主張からすると時機尙遲し計畫亦徹底してゐないことを恨む位だ、併し之に依つて我が路政界が頓に緊張したことは事實だ、地方からも我が編輯室へ聲援して呉れる人もある、岩手縣土木課長の長谷川君、地方下級技術員には地獄で佛様の感、お蔭で霧社生蕃式の首切りな

やらずに済むのが嬉しい、チラカ處の縣會も、政府の失業救済道路事業に誘はれて政民一致して道路熱を煽り居る、との便り。青森縣土木課長の榊井君からも聲援、緊縮豫算で随分苦心したが、漸く十和田湖を中心とする縣道改修費參拾萬圓をせしめた、失業救済として始める道路とし、果た觀光道路としては非補助を買つて完成したのもものだ。大阪府土木部長の濫江君からも同様の便りがあつた、此調子で吾が路政は緊張裡に歳を送る。

本誌定價 五十錢  
 一ヶ年分 金 六圓

東京市麹町區大手町一丁目内務省内  
 發行所 社團道路改良會

發行兼編輯者 小島 效

東京市小石川區諏訪町五六  
 印刷所 常磐印刷所

印刷者 堀江關武